

...ボランティアがつくるニュースレター...

トラストネットワーク

発行…トラスト通信ボランティア
問合せ…(一財)世田谷トラストまちづくり

〒156-0043 世田谷区松原 6-3-5

Tel: 03-6379-1620 Fax: 03-6379-4233

<http://www.setagayatm.or.jp/>



No. 83 2019年 3月

せたがや梅まつり

古代、花といえば梅。厳寒に耐えながら百花に先がけて花開く。悲運の貴族菅原道真の故事など歴史のロマンあふれる花。香りや花を楽しんだ後は実も楽しめる。「桜よりも梅が好き」という日本人は多いかもしれません。昨年5月から私達が活動する「(一財)世田谷トラストまちづくり」の事務所のすぐ後ろは東京都屈指の梅の名所、羽根木公園です。第42回を迎えたせたがや梅まつりをたずねてみました。

～～かつては一面の笹原、

現在は紅梅270本 白梅380本

小田急線の、その名も“梅ヶ丘”駅を降りて古事記橋を過ぎると梅林はすぐそこ。1967年に55本の梅の植樹から始まった羽根木の梅林は今や650本となり、訪れる人を楽しませてくれます。“八重寒紅”や“冬至”などから始まり“大盃(おおさかずき)”“蓮久(れんきゅう)”などが次々と開花していきます。記念植樹された特別な木や梅の種の名前を確認したり由来を想像したり、小高い丘の隅々まで歩き回っても興味が尽きません。

83号の目次

せたがや梅まつり	1
サツマイモの挿し苗・収穫体験	3
世田谷の街中アートⅡ	6
かわらばん	8



太宰府天満宮から寄贈された「飛梅」分身

それにしても梅の種類の多いこと。“白加賀”を中心に現在は60種類余りとのこと。“見驚(けんきょう)”“古今集”や“楊貴妃”というプレートも見つけ、どんな花なのか想像がふくらみます。3月に近づくと“紅千鳥”“養老(淡紅)”，1本に紅白両方の花をつける“思いのまま”など多くの種類が開花し、お気に入りの花を見つける楽しみも増えそう。世田谷区のホームページなどでは1月から開花状況を随時更新をしているので観梅のタイミングを確認できます。



ベビーカー、車椅子、ペット連れもOK

～～子どもデー・(一財)世田谷
トラストまちづくりも出店！！

2月9日から3月3日の「梅まつり」期間は土日祝日を中心に梅まつり



趣のある和風建築、星辰堂そばの梅には蜜を吸うめじろたちが・・・

実行委員会が楽しいイベントで盛り上げてくれました。実行委員会売店には和菓子や梅干し等々梅にちなんだお土産が並び、植木・園芸市、地元商店街の模擬店(焼きそば・ラーメン・ドリンク等々)や川場村物産展も。特設ステージでは演奏会や落語、町会や自治会の歌や踊りの発表が行われ、野点や伝統の餅つきが見られる日もあります。

暖かな陽射しに恵まれた2月16日は、梅林ガイドツアー(世田谷区みどり政策課職員による30分程度の無料ガイド)や代田和太鼓演奏、星辰堂での抹茶サービスなどで賑わいました。

「(一財)世田谷トラストまちづくり」のブースでも“生き物を楽しむガーデニング”の本やトラスト手ぬぐいなどの販売が行われ、世田谷のみどりを守り育てるトラスト会員にも大勢の方が入会されました。



カレンダーやシールの無料配布も人気だった「(一財)世田谷トラストまちづくり」のブース

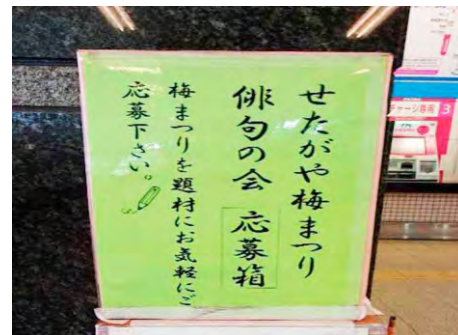
さらに梅まつり「俳句の会」は講習会を開いたり、期間中会場と梅ヶ丘駅改札に投句箱を設け作品を募集したりと、名誉区民の俳人中村汀女さんゆかりの地ならではの企画を。

梅林の入園料はもちろん無料！！期間中何度も訪れて春の深まりを感じながら観梅できます。



梅大福に行列も

世代や国境を越え誰もが春の訪れを五感で楽しめる“せたがや梅まつり”これからもずっと続いてほしいなと思いました。



梅ヶ丘駅に置かれた投句箱

羽根木公園

世田谷区代田4-38-52

小田急線 梅ヶ丘駅(徒歩5分)

京王井の頭線 東松原駅(徒歩7分)

小田急線 世田谷代田駅(徒歩10分)

東急バス、小田急バスなども区内各所から梅ヶ丘駅へ連絡しています。

参照 <http://setagaya-umematuri.com>

サツマイモの挿し苗・収穫体験

1 挿し苗 (植え付け)

6月9日(土)晴れ、午前9時から、瀬田農業公園(分園)でサツマイモ挿し苗の体験会が開催されました。

参加者15家族。受付を終えた家族に4本ずつ緑の元気なイモの苗が配布されましたが、サツマイモの苗と言われても「これが」という顔の家族も。

最初に、(一財)世田谷トラストまちづくりの担当係長からの挨拶、そして農業指導員からサツマイモの話と挿し苗(苗の植え付け)の方法について話がありました。



さつまいもの苗、当日植え付け用として参加者にくばられました。

サツマイモは、根の部分が太ったもので、じゃがいもなどのように茎が太ったものとは違います。また、サツマイモにもいろんな種類がありますが、今回植えるのは「紅はるか」という甘味の強い品種です。サツマイモは秋に収穫しますが、収穫後しばらく貯蔵して置いた方がおいしくなります。

次に、挿し苗の方法ですが、畑の中のマルチシートの部分に丸い穴が開けられています。その穴の真中に、地面に45度の角度でイモ苗を植える深さ15cmほどの小さな斜めの穴があります。その穴の中にイモの苗を挿し

入れて植え付けて下さい、とのこと。話が終わったところで、畑の中のマルチシートの畝のところに各家族が横一列に並び、イモ苗を植える4穴ずつを確保し、植え付け開始です。ところが、草花の苗等は地面に垂直に植えるという習慣があるためか、苗を挿し入れる既設の穴を無視して、新たに穴を掘り、イモ苗を地面に垂直に植える人、せっかく、子供が斜めに掘られた穴にイモ苗を挿し入れて植えたのを、あわてて、土を片寄せてイモ苗を地面に垂直にしようとするお母さんなど、大部分の参加者は垂直にイモ苗を植えたようです。



マルチシートに開けられた穴に、斜めに差し込みます。これで収穫が決まります。

苗を垂直に植えると、地中の茎の部分が浅くなり、その結果根の数が少なくなると、サツマイモの数も少なくなるのだそうです。根が少ないということは、サツマイモの生育が悪くなるばかりでなく、少しの日照りでも、枯れる恐れがあるということです。

最後に質問の時間があり、高齢のご婦人が、「サツマイモも種芋を直接畑に植えるものと思っていたのですが、間違っていたことが判りました。

ところで、サツマイモの苗はどのようにして作られるのでしょうか。」と質問をしました。

サツマイモの場合は、苗床をつくって種芋を植え、発芽した芽を大きく育て、20cm位に成長したものを切り取って、苗として、畑に植えるのですが、やっぱり、農業体験というのは有意義なものだと思います。

2 収穫

11月10日(土)晴れ。今日は、サツマイモの収穫体験日。昨日の雨も上がり、気温も上昇し暑いくらい。

最初に、(一財)世田谷トラストまちづくりの担当係長の挨拶の後、農業指導員から注意事項の伝達。サツマイモは地下30cm位まで伸びている場合もあるので、注意して掘ってください。それ以上深いところにまで伸びているということはありません。サツマイモを掘るために小さなスコップを用意しましたので、まず、ケガをしないように注意をし、サツマイモが見えたら手で掘るようにしてください。それから、イモを掘るのは、1家族2株ですので、よろしく願います、という言葉で一斉に畑の中に。

畑の中はサツマイモの蔓が繁茂していますが、片側の半分だけ蔓が巻き上げられていました。参加者は、サツマイモの蔓が繁茂している中に足を入れて並び、サツマイモの蔓が根元からどのように伸びているかを確認し、農業指導員がサツマイモの根元から蔓を切り離すのを見届けてから、サツマイモの蔓を引っ張り、片寄せました。



うーん、少ないな。あちらの人はあんなに穫れたのに。やはり植え方の問題か？

いよいよ、イモ掘り開始です。始めは、慎重にスコップで土を払いのけていましたが、イモが見えた瞬間、スコップを投げ捨てて、手で掘り始めました。

イモの根が縦横に沢山伸びているので、幼児にはちょっと難しく、お父さんの活躍の場でした。

ところが、過日サツマイモの苗を垂直に植えたためか、収穫が極端に少ないのです。ある家族の収穫を見ていたら、最初の1株目は、握りこぶしよりやや小さい丸いイモが3本と親指よりやや太いイモが3本でした。2株目は、と期待しましたがこれも握りこぶしよりやや大きいイモが2本でした。

うーん、少ないなと思っていたら、担当係長が「イモの収穫量が少ない方がおられるようですので、収穫量の少ない方は、こちらの畝のサツマイモを1株、掘ってください。」と、専門家が植えたサツマイモの畝を指示しました。それで、全員が一斉に、指示された畝のサツマイモを掘り出したところ、大きいサツマイモがごろごろ。1株で大きいサツマイモが4本も5本も取れました。これには皆さん大喜び。ちなみに最初の2株

のイモの重量は950g、3株目のイモの重量は1株2.2kgもありました。



収穫量の差、左側が垂直に植えた株、右側は45度斜めに植えた株のイモ。大きさだけでなく、数量も違います。

サツマイモの苗を45度の角度に15cm挿入して植えた場合と、垂直に植えた場合の違いを見せつけられました。

最後に、しばらく保管してから食べてくださいという注意を受けて解散。皆さん、大きな袋にいっぱいイモを抱えて満足そうに帰途に就きました。当日の参加者は13家族でした。

[補足]

1 サツマイモの歴史

17世紀の初めに中国経由で琉球(現在の沖縄)に伝わり、そこから種子島、鹿児島に広がり、九州南部で栽培されるようになりました。18世紀、江戸時代に入り江戸の蘭学者である青木昆陽が、その栽培を全国に広めた結果、幾度かの飢饉の際に多くの人命が救われました。そのため昆陽は「いも神様」として尊敬されるようになりました。

1945、46年の食糧難の際には家庭菜園の主役となり、イモだけではなくその葉や茎まで貴重な栄養源となりました。当時育ち盛りの世代だった方々には思い出の多いサツマイモでしょう。

2 サツマイモの品種

国内では非常に多くの品種が開発され、生産販売されています。品種名とブランド名に混同の感があります。

代表的な品種と特長を示します。

安納イモ	鹿児島 種子島 果肉は黄色 甘味大
紅イモ	沖縄 コメに代わる食料
紫イモ	鹿児島 種子島 果肉も紫色
鳴門金時	徳島
紅赤	埼玉 改良品種に紅東生産量大
黄金千貫	鹿児島 芋焼酎の原料
紅はるか	鹿児島 茨城等の広域で生産 甘味が特長 2010年に登録された新品種 今回の栽培体験に使用されている。

サツマイモの品種改良は 国内の気候環境では困難で、サツマイモの花を咲かせ種を採るために、かつては沖縄で行なわれていました。最近では温室の整備や温湿度の制御が可能となり、産地に近い地域で行なわれています。

3 サツマイモの保存・貯蔵

保存のための適温は13~15℃、最適湿度は85~90%です。低温では腐敗し、高温では発芽してしまいます。これらの条件を満たす環境を作るためには土中に深い穴を掘ってその中に適当な用具を用いて保存する方法が考えられます。どうやって冬を越すのか、それが大きな課題です。専門家に相談するのがベストでしょう。

補足分参考資料

日本の伝統野菜 梶木利隆監修

2015年8月 発行 岩崎書店刊
農家が教える 家庭菜園 春夏編

2009年12月 発行 農文協編

世田谷の街中アートⅡ

まちづくりに於いて景観がはたす役割は大きいと思います。かつては、景観は山や川などの自然によって構成されていました。しかし現代の都市化が進むにつれ人工物によって構成されることが多くなってきました。前号に引き続き、街中の景観を構成するアートを探ってきました。

1 池尻小学校の壁画 池尻二丁目4

玉川通り(246号線)と三宿通り(420号線)の交差点より南側約200m先に交番があります。その交番の横を東方向に曲ると小学校の体育館があり、その屋上はプールになっています。その外面に壁画が広がっています(下図)。



母と子

その道を小学校に沿って進むと、第二体育館があり、その外壁面にも壁画があります。壁画の画題は最初が「母と子」で1994年12月作、後者が「飛翔」で1993年7月作、陶板レリーフ形式です。



飛翔

作者は利根山光人(1921-1994)、メキシコを題材にした情熱的な作品が多く「太陽の画家」と呼ばれていました。

これらの壁画展示は(公益財団法人)日本交通文化協会により企画されています。当財団はパブリックアートの普及促進を図り、駅舎、空港などへの絵画展示を進めています。詳細は下記ホームページを参照願います。

<http://jptca.org/publicart/>



左図は池尻小学校、世田谷公園への道程を示します。

最寄りの交通機関は玉川通り・三宿通りの交差点付近の三宿バス停(東急バス)をご利用下さい。

その他、渋谷発で下馬一丁目や野沢竜雲寺を循環する路線(渋31、渋32)も世田谷公園へは便利です。

2 世田谷区内の D51とC57

「世田谷区においては、交通機関の近代化に伴い、廃車されつつある蒸気機関車を区立世田谷公園に設置保存し、高く一般の観覧に供するとともに、交通機関の発展を通じて、その近代化と科学の驚くべき進歩を知る教育上の参考資料にしたいと考えその保存計画をたてました。・・・以下略」という掲示板が世田谷公園内に設けられ、その後ろ側に、D51型蒸気機関車が展示されています。



D51型蒸気機関車

同様の趣旨で、区立大蔵運動公園にも、C57型蒸気機関車が展示されています。D51型は主に貨物、C57型は客車を牽引して昭和10年代から40年代にかけて活躍した機関車です。



C57型蒸気機関車

親子連れの子どものたちの関心の的になっていました。公園内の近代化遺産としても興味深いものでしょう。

3 ゴリラビル その2

狛江市岩戸北四丁目-20

世田谷通りの野川に架かる中之橋を渡り数百メートルの沿道にそのビルがあります。付近のバス停喜多見駅前から近づくと3階建てのビルの屋上に何かがある感じがします。



ビルの反対側から見上げると、そこには親子のゴリラがいることがわかります。

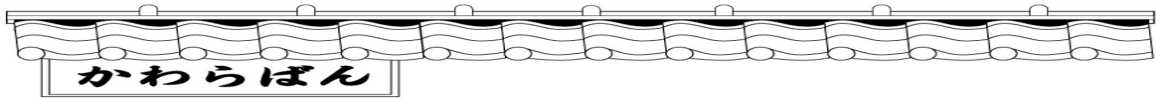
親は玩具の自動車を手に持ち、ねじり鉢巻に葉巻をくわえています。肩にまたがった子ゴリラは旗を手にしているのがわかります。



屋上には親子のゴリラ、手にはミニカー

ビルのオーナーは眼鏡屋さん、お話を伺いました。30年程前、以前のオーナーがこのビルを建て、屋上にゴリラを設置、外車販売業を営んでいたのがゴリラの手にミニカーがあるとか、太子堂のゴリラビルオーナーとも知り合いで、ゴリラの製作者は同じ方、もう一箇所ゴリラビルはあるはず、とか興味深い話が尽きませんでした。

街の景観を彩るだけでなく、ランドマークとしても役立つことでしょう。



喜多見氷川神社節分祭

2019年2月3日(日)快晴で気持ちのよい日和でなにより！

9時過ぎに着いたらもう数人が境内に陣取っています。まず参拝して待っていると続々と人々が集まって来ます。紅・白梅の小枝がバケツに用意され、その一本を手にししました。

斎行10時に合わせたかのように老若男女、幼児連れの家族などがどんどん集まりだしました。

社務所から金棒、猿田彦、介添、神職、楽人に続き総代、来賓、世話人らが列を作って現れ、参道を周り祓戸へ参進し、^{はらえど}祓戸で^{しゅうふつ}修祓を行い、社殿へ参進し参拝者らに祓いをします。祝詞奏上、福豆授与の作法説明があり、太鼓の合図で豆まきが始まります。鬼が現れ神官との鬼問答になり、負けた鬼を追い払って「福は内」と豆を撒くと、福の神の行列が社殿へと進んで、恵比寿舞、上の舞が奉納され、福銭が撒かれます。拝礼をして一連の神事が終了となります。



初めて目にした神事に重々しさと和やかさを感じました。帰り際の人たちには福豆袋と福銭(5円玉)はミカンが配られ、梅の小枝を手にしたたり、福豆袋を持った子ども達など思い思いに家路についたようです。来年も是非節分祭に参加したいと思いました。

節分祭に因んだ俳句

鬼やらい自転車で来る親子連れ
追儼式子に見せたくて肩車
豆まいて境内の空広くなる

注) 鬼やらい、^{ついな}追儼：古くは中国に始まり、7世紀末に日本に宮中の年中行事として伝わり、近世民間では節分の行事となりました。



マルバスミレ

スミレ科

野原や道端に咲く可憐な野草で、日本には多くの種類があります。



彩草会

編集後記 トラストネットワークは1999年7月25日に創刊号が発行されました。その後19年間に83号までお届けすることが出来ました。作成に関わるメンバーは変わりましたが、今号より新たに意欲的な2名の方が参加され、さらに充実した紙面になると期待しています。

83号作成に関わったメンバー

大泉定雄 奥田雅子 片寄正史 北嶋明子 須藤礼子 須永澄子 野武一郎 宮下正雄